

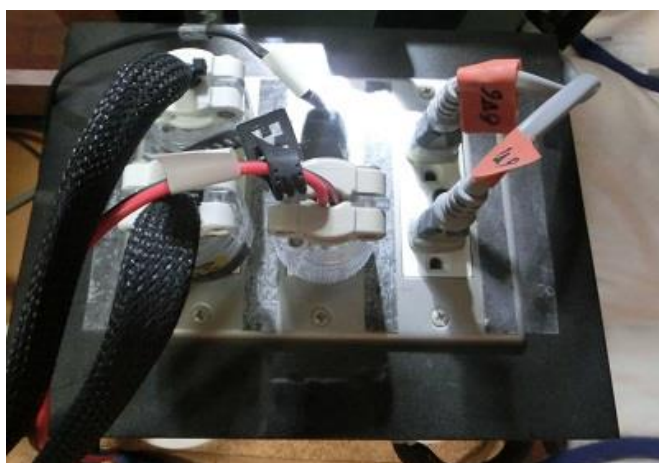
## JBL4350A の音質向上(5) —パワーリベラメンテの効果(5)—

### 1. 始めに

前報(4)までの結果を踏まえて JBL4350A 駆動用パワーアンプにもパワーリベラメンテの効果を活かすべく、電源ケーブル着脱式のタップを購入し、パワーリベラメンテ導入の準備をすることにしました。そして使用していないいくつかの電源ケーブルで予備テストを行い、JBL4350A が駆動用パワーアンプに対する電源ケーブルの効果の予め探ってみることにしました。

### 2. JBL4350A の駆動用パワーアンプに対する給電の試聴方法

JBL4350A の駆動用パワーアンプに対する給電の現状はアイソレーショントランスから黒御影石のタップを経由して給電しています。



この黒御影石のタップを KOJO のタップに変更し、使用していないいくつかの電源ケーブルを用いて電源ケーブルの効果がどのようなものか調べてみることにしました。なお、KOJO のタップは 6 口あり、JBL4350A の駆動用パワーアンプは次のようになっており、1 口余裕があるので FAL C90EXW 用のしなの音蔵の 300B シングルアンプにも給電できます。さらに 2P の取り口もサイドにありますので、チャンネル

ルデバイダーの電源はここから取れます。

ヒースキット	W-6M KT88 プッシュプル×2	GEC KT88 ST 管
ヒースキット	W-5M KT66 プッシュプル×2	GEC KT66 ST 管
芦屋ベルステレオ	45 プッシュプル	RCA 45 ナス管

以上から、このタップに次のような電源ケーブルを接続して音の変化をしらべてみました。随分以前の購入品または自作品ですので記憶も曖昧で詳しいことは省略します。

①Ortofon 製ケーブル

②メーカー名不詳市販ケーブル

③自作ケーブル A (ケーブルはアクロテック製切り売りケーブル)

④自作ケーブル B (ケーブルは不明)

⑤自作ケーブル C (ケーブルは電力供給用 F ケーブル)

⑥自作ケーブル D (ケーブルは Western 製ケーブル)



左：① 右：②



左：③ 右：④



左：⑤ 右：⑥

なお、もっとも好ましいと思われる KIMBER 製の電源ケーブルは、LAN 関連機器のタップに充当していますので使用しませんでした。

さらに 2 台のアイソレーショントランスがありますので、その音質比較も行ってみました。

### 3. JBL4350A の駆動用パワーアンプに対する給電の試聴方法

試聴はアイソレーショントランスから KOJO のタップへの接続を上記のケーブルを取り替えながら、JBL4350A と FAL C90EXW を交互に切り替えてケーブル交換の音質に与える変化を聴きとっていきました。音源は、リモコン操作でいろいろな曲を簡便に選べる BS 録画を使用しました。

①Ortofon 製ケーブルでは、低域が膨らみ、中高域の肌理が粗く、クラシックでチューニングされたケーブルではないようです。

②メーカー名不詳市販ケーブルでは、パワーリベラメンテに取って代わられるまでアナログ系に給電するチクマのタップに使用していたものですが、傾向は①Ortofon 製ケーブルと正反対で中高域が少し華やぐところはあるものの、肌理が細かく音場表現も良好で生き残っていた理由が分かりました。JBL4350A で弦楽四重奏を聴ける及第点の限度ぎりぎりというところでしょうか。

③自作ケーブル A では、②メーカー名不詳市販ケーブルの中高域をさらに華やかにし、切れ味が鋭くなり、ポップス系では好まれるかもしれません。

④自作ケーブル B では、自作ケーブル A を少し上質にしたような印象で惹かれるところもあるのですが、JBL4350A では弦のきつさも出てきます。

⑤自作ケーブル C では、見てくれも悪い安上がりのケーブルですが、意外に変な癖がなく嫌味はないものの、楽器の質感などの魅力に乏しい印象です。

⑥自作ケーブル D では、以前スピーカーケーブルに使用していた Western 製ケーブルの自作品で、傾向としては自作ケーブル C と同様ですが、もう少し肌理が細かく楽器の質感もよく出てきます。

なお、JBL4350A と FAL C90EXW とでは、ケーブルの印象の傾向は変わらず、JBL4350A では音像が立ち、低音の力強さがありますが、質感は FAL C90EXW に及びません。FAL C90EXW は質感の肌理が細かく、音場表現がよく出てきます。

以上から、しばらく②メーカー名不詳市販ケーブルを使用しながら様子を見ることとし、パワーリベラメンテの到着を待つこととします。

ケーブルが②のメーカー名不詳市販ケーブルに落ち着いたところで、2 台のアイソレーショントランスについて現行の①TYO 550CS ともう一つの②TGE 600CS の比較を行ってみました。ケーブルを決めるまでは①TYO 550CS から給電していましたが、②TGE 600CS からの給電に替えてみましたところ、後者の②TGE 600CSの方が音が滑らかで響きも良いことが分かり、アイソレーショントランスで音が変わるのは意外

でした。



左：① 右：②

#### 4. まとめ

パワーアンプにおいても電源ケーブルの音質に与える影響は大きいことが分かりました。②のメーカー名不詳市販ケーブルとパワーリベラメンテの差はアナログ系への給電のタップへの適用で経験済みですので、到着が楽しみです。JBL4350A と FALC90EXW とでは、ケーブルの印象の傾向は変わらないことから、同じケーブルとタップを共有してよいと思われます。アイソレーショントランスは TGE 600CS を選択し、TGE 600CS と KOJO のタップをパワーリベラメンテで繋ぐこととします。

以上